

区分		点検項目	判定 ※ () 内は必須資料を示す	左の判定を選択した理由	根拠資料・データ
1	ディプロマ・ポリシーの明示	ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）において、以下の各項目に係る記述が含まれているか？ ・学生の進路先等社会における顕在・潜在ニーズ ・学生の学習の目標となっていること ・「何ができるようになるか」に力点を置き、どのような学習成果を上げれば卒業を認定し、学位を授与するのかが具体的に示されていること ■3つのポリシーの策定及び運用に関するガイドライン http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/__icsFiles/afieldfile/2016/04/01/1369248_01_1.pdf	☐ 全て含まれている（資料1）		資料1 ・シート「3つのポリシー」（公表された学位授与方針）
			☐ 一部含まれていない（資料1）		
			☐ 全く含まれていない（資料1）		
2	カリキュラム・ポリシーの明示	カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）において、以下の各項目に係る記述が含まれているか？ ①教育課程の編成の方針 ②教育課程における教育・学習方法に関する方針 ③学習成果の評価の方針 ■3つのポリシーの策定及び運用に関するガイドライン http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/__icsFiles/afieldfile/2016/04/01/1369248_01_1.pdf	☐ 全て含まれている（資料1）		資料1 ・シート「3つのポリシー」（公表された教育課程方針）
			☐ 一部含まれていない（資料1）		
			☐ 全く含まれていない（資料1）		
3	ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの整合性	教育課程の編成及び実施の内容が、「ディプロマ・ポリシーに示す獲得が期待される能力」を学生が獲得できるものとなっているかを確認できるだけの整合性を有しているか？ ■3つのポリシーの策定及び運用に関するガイドライン http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/__icsFiles/afieldfile/2016/04/01/1369248_01_1.pdf	☐ 全て整合性が取れている（資料1）		資料1 ・シート「3つのポリシー」（公表された学位授与方針及び教育課程方針）
			☐ 整合性が取れていない部分がある（資料1）		
			☐ 全く整合性が取れていない（資料1）		
4	教育課程編成の体系性	教育課程の体系性について、科目一覧表や教育課程表以外に、カリキュラム・マップ、コース・ツリー、履修モデル、コース・ナンバリング等の資料があるか？	☐ 資料がある（別添資料）		■別添資料 ・体系性が確認できる資料（カリキュラム・マップ、コース・ツリー、ナンバリング等）
			☐ 現在作成中である		
			☐ 資料がない		
		カリキュラム・ポリシーに基づいて、教養教育及び専門教育のバランス、必修科目・選択科目等の配当等を考慮した授業科目が配置されているか？	☐ 配置されている（別添資料）		■別添資料 ・授業科目の開設状況が確認できる資料（コース、教養・専門基礎・専門等の分類、年次配当、必修・選択等の別）
			☐ 配置されていない		
5	授与学位の水準	授与する学位に対して、「一単位の授業科目を45時間の学習を必要とする内容をもって構成することを標準とする」との大学設置基準の規定を踏まえ、科目の内容や水準が適切に設定されているか？ ※以下場合は、科目の内容がふさわしい水準になっていると判断されるため、別添資料として以下のいずれかを示すこと。 ・信頼できる分野別第三者評価機関によって保証されている場合 ・日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが機関別内部質保証において保証されている場合 ・シラバスを検証することによって、45時間の学習時間が必要であることを確認できる場合 ・自己点検・評価において水準に関する検証を大学等の目的に則したその他の方法によって実施し、検証されている場合	☐ 科目の内容や水準が適切に設定され、十分な検証がされている（別添資料）		■別添資料 ・シラバスの検証結果 ・直近の分野別第三者評価の結果 ・日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料 ・その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料
			☐ 科目の内容や水準が適切に設定されているが、検証が不十分である		
			☐ 科目の内容や水準が適切に設定されていない		
6	他大学等における単位認定	他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、大学設置基準に従い、認定に関する規定が定められているか？	☐ 定められている（別添資料）		■別添資料 ・明文化された規定類
			☐ 定められていない		
			☐ 対象外である		
7	年間の授業期間	1年間の授業を行う期間が、定期試験等の期間を含め、35週確保されているか？	☐ 確保されている（別添資料）		■別添資料 ・1年間の授業を行う期間が確認できる資料（学年暦、年間スケジュール等）
			☐ 確保されていない		
8	各科目の授業期間	各授業科目が、10週又は15週にわたる授業期間を単位として行われているか？	☐ 全ての授業科目で行われている（別添資料）		■別添資料 ・1年間の授業を行う期間が確認できる資料（学年暦、年間スケジュール等）
			☐ 一部の授業科目で行われていない（別添資料）		
			☐ 多くの授業科目で行われていない		
		10週又は15週と異なる授業期間（クォーター制、集中講義等）が設定されている場合、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげているか？	☐ 同等以上の十分な教育効果をあげている（別添資料）		■別添資料 ・教育効果をあげていることが確認できる資料
			☐ 同等以上の教育効果をあげていない		
			☐ 10週又は15週と異なる授業期間が設定されていない		

区分		点検項目	判定 ※（）内は必須資料を示す	左の判定を選択した理由	根拠資料・データ
9	適切な授業形態と学習指導法の採用及びシラバスの公表	学生が各授業科目の準備学習等を進めるための基本となるものとして、以下に示す項目及び内容がシラバスに記載されており、全ての授業科目及び全項目について記入されているか？	☐ 左記のシラバス記載項目について、全ての授業科目において、具体的内容が全て記入されている（別添資料）		■別添資料 ・シラバスの全授業科目及び全項目の記載状況チェック済みリスト
		【シラバス記載項目例】 授業名、担当教員名、授業の目的・到達目標、授業形態、各回の授業内容、成績評価方法、成績評価基準、準備学習等に対する具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件 等	☐ 左記のシラバス記載項目について、一部の授業科目において、具体的内容が全て記入されていない（別添資料）		
			☐ 左記のシラバス記載項目について、多くの授業科目において、具体的内容が記入されていない		
		学生に対して、全ての授業科目のシラバスが、刊行物の配布、ウェブサイトへの掲載等により周知されているか？	☐ 全ての授業科目のシラバスが周知されている（別添資料）		■別添資料 ・シラバスの全件、全項目が確認できる資料（電子シラバスのデータ（csv）又はURL等）、学生便覧等の関係資料
			☐ 一部の授業科目のシラバスが周知されていない（別添資料）		
			☐ 多くの授業科目のシラバスが周知されていない		
		授業形態（講義、演習、実験、実習等の組合せ・バランス）、学習指導法（少人数授業、対話・討論型授業、多様なメディアの活用、能力別授業の実施等）の工夫等について、取組が行われているか？	☐ 取組が行われている（資料5）		資料5 ・シート「学習指導法等」
			☐ 取組が行われていない（資料5）		
	芸術等の分野における個人指導による授業（実技等）の場合、大学等の目的に則した方法により授業計画が示されているか？	☐ 授業計画が示されている（別添資料）		■別添資料 ・芸術等の分野における実技の授業計画	
		☐ 授業計画が示されていない			
		☐ 対象外である			
10	教育上主要と認める授業科目の担当教員	「教育上主要と認める授業科目」の定義が定められているか？	☐ 定義が定められている（右欄に記載）		※ここに定義を記入してください 【例】専門教育科目及び選択必修科目
			☐ 定義が定められていない		
		「教育上主要と認める授業科目」について、専任の教授又は准教授が配置されているか？	☐ 専任の教授又は准教授が配置されている（資料6）		資料6 ・シート「開設科目」（該当する授業科目数、そのうち専任の教授又は准教授が担当する科目数、専任の講師が担当する科目数）
		※専任の教授又は准教授が実際に授業を担当しない場合でも、授業の内容、実施、成績に関して責任を持っている場合も配置されているとみなす。	☐ 専任の教授又は准教授が一部配置されていない（資料6）		
			☐ 専任の教授又は准教授が配置されていない（資料6）		
11	夜間授業の実施	夜間において、授業を実施している課程を置いている場合、そのための配慮を行っているか？	☐ 配慮した授業が実施されている（別添資料）		■別添資料 ・夜間授業において実施している配慮が確認できる資料
		☐ 配慮した授業が実施されていない			
		☐ 対象外である			
12	履修指導の組織的体制と実施	ガイダンス、担任制、学習成果の状況の組織的把握と対応、学習計画の指導、能力別クラス分け、基礎学力不足の学生に対する指導や助言等について、取組が行われているか？	☐ 取組が行われている（資料7）		資料7 ・シート「履修指導」
			☐ 取組が行われていない（資料7）		
		授業科目への学術の発展動向（担当教員の研究成果を含む。）の反映、他学部の授業科目の履修、編入学や秋期入学への配慮、修士（博士前期）課程教育との連携、国内外の他大学との単位互換・交換留学制度の実施、ダブル・ディグリー制度の導入等について、取組が行われているか？	☐ 取組が行われている（資料7）		
		☐ 取組が行われていない（資料7）			
13	学習相談の体制と実施	オフィスアワーの設定、ネットワークを活用した学習相談、本学の状況を踏まえた学習相談や助言等の学習支援等について、取組が行われているか？	☐ 取組が行われている（資料8）		資料8 ・シート「学習相談」
		☐ 取組が行われていない（資料8）			
14	社会的・職業的な自立に向けた能力養成の実施	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培うために、インターンシップの実施、その他教育課程の目的に応じた取組等が行われているか？	☐ 取組が十分に行われている（資料9及び別添資料）		資料9 ・シート「キャリア教育」 ■別添資料 ・インターンシップの実施状況が確認できる資料（実施要項、提携・受入企業、派遣・単位認定実績等）
		☐ 取組が行われている（資料9）			
		☐ 取組が行われていない（資料9）			
15	障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援の体制と実施	履修上特別な支援を要する学生への学習支援として、あらかじめこれらの学生の人数等に関するデータを把握した上で、本学の状況を踏まえた学習支援が行われているか？	☐ 学習支援が十分に行われている（資料10及び別添資料）		資料10 ・シート「学習支援」 ■別添資料 ・チューター等を配置している場合は、その制度や配置状況が確認できる資料
			☐ 学習支援が行われている（資料10）		
			☐ 学習支援が行われていない（資料10）		
		特に、障害のある学生への学習支援について、教育基本法や障害者差別解消法の趣旨が考慮されているか？	☐ 関係法令の趣旨が考慮されている（別添資料）		・留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）を行っている場合は、その該当箇所 ・障害のある学生に対する支援（ノートテーカー等）を行っている場合は、その制度や実施状況が確認できる資料 ・特別クラス、補習授業を開設している場合は、その実施状況（受講者数等）が確認できる資料 ・学習支援の利用実績が確認できる資料
		☐ 関係法令の趣旨が考慮されていない			
		履修上特別な支援を行うことが必要と考えられる学生が現在在籍していない場合でも、本学の状況を踏まえた学習支援を行うことができる状況にあるか？	☐ 学習支援を行うことができる（別添資料）		
		☐ 学習支援を行うことができない			

区分		点検項目	判定 ※ () 内は必須資料を示す	左の判定を選択した理由	根拠資料・データ
16	成績評価基準の組織的策定	成績評価基準について、評価（A、B、C、D、F等）を適用する際の科目の到達目標を考慮した判断基準が組織として定められているか？	☐ 成績評価基準が定められている（別添資料）		■別添資料 ・成績評価基準
		※成績評価基準は、教育課程方針に明記されていることも想定される。	☐ 成績評価基準が定められていない		
17	成績評価基準の公表	学生に対して、成績評価基準が、刊行物の配布、ウェブサイトへの掲載等により周知されているか？	☐ 成績評価基準が周知されている（別添資料）		■別添資料 ・学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料等の該当箇所
			☐ 成績評価基準が周知されていない		
18	成績評価や単位認定に関する組織的实施	カリキュラム・ポリシーの「学習成果の評価の方針」に照らして、成績評価分布について、以下に示すような取組や点検が組織的に行われているか？ 【具体的な取組や点検例】 ・成績評価分布に関するガイドラインの策定（Aをクラスの30％程度とするなど） ・成績評価の妥当性の事後チェック（偏りの点検） ・答案の返却、模範解答あるいは採点基準の提示 等	☐ 組織的な取組が十分に行われている（資料11及び別添資料）		資料11 ・シート「成績評価等」 ■別添資料 ・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料（教務系委員会の議事録等） ・45時間の学習時間の確保の実態に関する調査結果
			☐ 組織的な取組が行われている（資料11）		
			☐ 組織的な取組が行われていない（資料11）		
		G P A 制度を実施しているか？	☐ G P A 制度を実施している（別添資料）		■別添資料 ・G P A 制度の目的と実施状況についてわかる資料
			☐ G P A 制度を実施していない		
		個人指導等が中心となる授業科目がある場合、成績評価の客観性を担保するための措置がとられているか？	☐ 措置がとられている（別添資料）		■別添資料 ・成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料
			☐ 措置がとられていない		
			☐ 対象外である		
		《 共同獣医学科のみ 》 共同教育課程を編成する学科の場合、成績評価や単位認定について、構成大学を通じて一貫したものとなっているか？	☐ 一貫したものになっている（別添資料）		■別添資料 ・共同教育課程を編成する学科において、成績評価や単位認定に関する資料
			☐ 一貫したものになっていない		
			☐ 対象外である		
19	成績に対する異議申立て制度に関する組織的实施	成績に対する異議申立て制度を組織的に設けており、異議の受付窓口が教員のみとなっておらず、受付後の対応手順や様式等を定めて実施されているか？	☐ 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けており、受付後の対応フロー等の手続きに基づき実施されている（別添資料）		■別添資料 ・成績に対する異議申立て制度に関する資料（成績評価の疑義申立制度に関する規則、申合せ等） ・学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料 ・申立ての状況が確認できる資料（申立ての内容及びその対応、申立ての件数等）
			☐ 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けているが、受付後の対応フロー等の手続きに基づき実施されていない（別添資料）		
			☐ 成績に対する異議申立て制度が組織的に設けられていない		
		成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）が、組織的な検証を行うことができる状況にあるか？	☐ 組織的な検証を行うことができる（別添資料）		■別添資料 ・成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）の取扱いに関する資料（文書管理規程等）
			☐ 組織的な検証を行うことができない		
20	卒業要件の組織的策定	大学が定める卒業の要件（以下「卒業要件」という。）が組織として策定され、大学設置基準等が定める要件と整合的であるか？	☐ 卒業要件が策定されており、全て整合性が取れている（別添資料）		■別添資料 ・卒業又は修了の要件を定めた規定（学部規則等） ・卒業又は修了判定に関する教授会等の審議及び学長等、組織的な関わり方を含めて卒業（修了）判定の手順が確認できる資料（教授会規則等）
			☐ 卒業要件が策定されているが、整合性が取れていない部分がある（別添資料）		
			☐ 卒業要件が策定されているが、全く整合性が取れていない		
		修業年限の特例措置を講じている場合、学校教育法、大学設置基準、大学院設置基準等に従い、適切に規定が整備されているか？	☐ 規定が整備されている（別添資料）		
			☐ 規定が整備されていない		
			☐ 対象外である		
21	卒業要件の公表	学生に対して、卒業要件（学位論文評価基準を含む）が、刊行物の配布、ウェブサイトへの掲載等により周知されているか？	☐ 卒業要件が周知されている（別添資料）		■別添資料 ・学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所
			☐ 卒業要件が周知されていない		
22	卒業認定の組織的实施	卒業認定について、教授会規則に基づき実施されているか？	☐ 規則に基づき実施されている（別添資料）		■別添資料《 学士課程 》 ・教授会等での審議状況がわかる資料（教授会議事録等）
			☐ 規則に基づき実施されていない		

区分		点検項目	判定 ※ () 内は必須資料を示す	左の判定を選択した理由	根拠資料・データ
23	学習成果の把握（卒業率、資格取得、受賞等）	ディプロマ・ポリシーに則して、標準修業年限内の卒業率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業率（過去5年分）の状況が妥当であるか？ ※標準修業年限内卒業（修了）率： 標準修業年限で卒業（修了）した者の数／標準修業年限（例：4年制学部であれば4年）前の入学者数 ※「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率： 分母（A）のうち、（標準修業年限×1.5）年間に学位を取得した者の数／（標準修業年限×1.5）年前の入学者数（A）	☐ 十分妥当である（資料12及び別添資料）		資料12 ・シート「卒業（修了）率」（標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率の過去5年間分） ■別添資料 ・卒業（修了）率等の状況が優れている場合、その具体的な状況を示す資料
			☐ 妥当である（資料12）		
			☐ 妥当とはいえない（資料12）		
		ディプロマ・ポリシーに則して、資格取得の状況が妥当であるか？	☐ 妥当である（資料13）		資料13 ・シート「資格取得」
			☐ 妥当とはいえない（資料13）		
			☐ 対象外である		
24	学習成果の把握（就職・進学率、主な就職／進学先等）	ディプロマ・ポリシーに則して、就職率（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率の状況が妥当であるか？	☐ 妥当である（資料15）		資料15 ・シート「就職・進学率」（就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の過去5年間分）
			☐ 妥当とはいえない（資料15）		
		ディプロマ・ポリシーに則して、就職先及び進学先の状況が妥当であるか？	☐ 十分妥当である（資料16及び別添資料）		資料16 ・シート「就職・進学率」（主な進学／就職先（起業者も含む）の過去5年間分） ■別添資料 ・卒業（修了）生の社会での活躍等が確認できる資料（新聞記事等）
			☐ 妥当である（資料16）		
			☐ 妥当とはいえない（資料16）		
25	学習成果の把握（学生からの意見聴取結果）	卒業時において、学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査等）の結果を踏まえて、ディプロマ・ポリシーに則した学習成果が上がっているか？	☐ 学習成果が十分に上がっている（別添資料1及び2）		■別添資料 ・学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料 ・客観的資料に基づく意見聴取に関する資料（DP能力の修得度の可視化結果？）
			☐ 学習成果が上がっている（別添資料1のみ）		
			☐ 学習成果が上がっていない		
26	学習成果の把握（卒業生からの意見聴取結果）	卒業後において、一定期間を経過した卒業生からの意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の結果を踏まえて、ディプロマ・ポリシーに則した学習成果が上がっているか？ ※一定期間とは、例えば「5年間」等の大学が適切と考える期間を示す。	☐ 学習成果が十分に上がっている（別添資料）		■別添資料 ・卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料
			☐ 学習成果が上がっている（別添資料）		
			☐ 学習成果が上がっていない		
27	学習成果の把握（就職先等の関係者からの意見聴取結果）	就職先等の関係者からの意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の結果を踏まえて、ディプロマ・ポリシーに則した学習成果が上がっているか？	☐ 学習成果が十分に上がっている（別添資料）		■別添資料 ・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料
			☐ 学習成果が上がっている（別添資料）		
			☐ 学習成果が上がっていない		